

人材育成セミナー

# 映文連 TANPEN塾

集中講座(5回シリーズ)

2017年1月26日～2月23日(毎週木曜日) 19時～21時30分

今日のメディア状況を踏まえながら、これから映像業界で活躍する人材育成をめざす「映文連 TANPEN塾」の第5弾。業界で活躍する講師陣をお招きし、短編(TANPEN)映像に関して、様々な角度から映像の作り方を伝授します。1回の講義に2名の講師を組み合わせた多彩なカリキュラム。映像制作プロダクションで働く若手制作者は勿論のこと、経験を積んだ人も聞きたくなる、業界の最新の動向や、創作の極意・プロデュースの秘訣を知ることができる講座内容となっています。

## 第1回

2017年1月26日(木) 19:00～21:30

会場：(株)クリーク・アンド・リバー社 2F ホール(千代田区麴町2-10-9)



### 第1部『世の中をざわつかせるCM発想法』

Naruhiro Gompa / 権八 成裕

(シンガタ CMプランナー)

1998年電通入社。2003年シンガタ設立に参加。サントリー、SoftBank、earth music&ecologyなどのCMを手がけ、朝日広告賞、ADCグランプリ、ACCベストプランナーなど国内外受賞多数。SMAP「ユーモアしちゃうよ」等の作詞や毎週土曜深夜1時より東京FM「澤本・権八のすぐに終わりますから」放送中。



### 第2部『映像の作りかたをつくる』

Hiroki Nakamura / 中村 洋基

(PARTY クリエイティブディレクター / ファウンダー)

電通に入社後、初期はバナー広告ばかり制作していたが、活躍が見込まれ、多数のデジタルキャンペーンを手がけるようになる。2011年独立し、4人のメンバーとともにPARTYを設立。カンヌライオンズヤングコンペティション、サイバー部門日本代表、世界2位。国内外250以上の広告賞の受賞歴がある。

※毎回講義のあと対談(質疑応答)があります(30分)

募 集 人 員 : 40名(申込み先着順、定員の都合上、全コース申込みを優先いたします)

受 講 料 : 5回全コース会員30,000円(税別)、一般35,000円、1回券会員7,000円、一般8,000円

問い合わせ・申込先 : 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7階  
(公社)映像文化製作者連盟(TEL:03-3662-0236/FAX:03-3662-0238)

申 込 方 法 : 申込み欄(裏面)に必要事項をご記入のうえ、FAX又はE-mailでお送りください。  
申込み後、受講料の振込先をご連絡します。お振込の確認後、受講券をお送りいたします。

主催 公益社団法人 映像文化製作者連盟

第2回 2017年2月2日(木)



第1部 『広告なのにシェアされるコンテンツ』

Masato Taniguchi / 谷口 マサト

(LINE株式会社クリエイティブチーム チーフプロデューサー / 漫画原作者)

「大阪の虎ガラのオバちゃん」と27分デートしてみた!」などの記事広告や、LINEで配信するコンテンツ広告を担当。原作を書いた漫画「俺の恋に通信制限かかっている」は「突破クリエイティブアワード2016」に入選した。今年は映像と音楽の制作がテーマと語る谷口氏に、ユーザーにシェアされるコンテンツづくりの秘訣について聞く。



第2部 『無料インターネットテレビ局の挑戦』

Hiroki Urabe / 卜部 宏樹

(株式会社サイバーエージェント執行役員 / 株式会社AbemaTV 取締役)

2016年4月にサービスを開始した、サイバーエージェントとテレビ朝日が共同で展開する新たな動画サービス「AbemaTV」無料で楽しめるインターネットテレビ局が面白いと人気を呼んでいる。CS放送のように多数の専門チャンネルが並行して配信されるが、インターネットTV局の無料配信は果たして成り立つのか、立ち上げの背景や実際、これからの展望について聞く。

第3回 2017年2月9日(木)



第1部 『「体感」型展示映像の可能性』

Toshiyasu Shimizu / 志水 敏泰

(凸版印刷株式会社 ディレクター)

凸版印刷の展示ショールームで上映された84型4K映像を2枚連結した高精細ウェルカム展示映像で「映文連アワード2016」部門優秀賞を受賞。撮影機器、ディスプレイの4K、8K化が進む事で、映像が視聴するメディアから体感するメディアへ変化されると言われる今、様々な事例を交えて展示映像の可能性について語る。



第2部 『ミュージアムの体感型映像について』

Ryoji Shimizu / 清水 亮司

(株式会社ロボット ディレクター)

江戸時代に航海した大型木造船の甲板上で15m×3mの超ワイドスクリーン映像を送風やフラッシュなどの特殊効果と共に体感する『ミツカンミュージアム 時の蔵舟才船上映像』で「映文連アワード2016」部門優秀賞受賞。愛知半田から海を越えて運ばれたミツカンの酢が江戸に寿司文化を花開かせる物語を浮世絵風の3Dアニメによってダイナミックに描いたエンタテインメント性の高い映像となっている。来館者を楽しませる体感型映像の演出について語る。

第4回 2017年2月16日(木)



第1部 『動画マーケティングで新たなビジネスチャンス!』

Kengo Kaketa / 掛田 憲吾

(クロスコ株式会社 代表取締役社長 / 一般社団法人日本Web協会 会長)

動画をマーケティングツールとして活用する上で欠かせない“基本の心得”を事例やNY発の最新の動画作成スマホアプリの体験デモンストレーションを交えてご紹介、またWeb制作ビジネスの今、「つくって終わり」にならないWebの仕事の変化について話す。



第2部 『分散型動画メディアの可能性』

Taisei Yoshida / 吉田 大成

(株式会社エブリー 代表取締役社長)

日本最大級の料理動画メディア「DELISH KITCHEN」を運営する株式会社エブリー。エブリー運営の複数の分散型メディアやスマートフォン向け動画コンテンツの作り方、動画広告「ブランドコンテンツ」の事例などを紹介し、分散型動画メディアの可能性について話す。

第5回 2017年2月23日(木)



第1部 『VRコンテンツ制作について』

Takashi Okamoto / 岡本 崇志

(株式会社アマナ VR担当)

「VR元年」と言われる2016年。ゴーグル型ゲーム機などの製品が相次ぎ発売され、注目を集めている。まるでその場にいるかのようなバーチャル体験ができ、臨場感のある空間演出はどうすれば可能か。最新のデジタル技術の活用によって生み出されるアマナ特有のVRコンテンツ制作について語る。



第2部 『VRビジネスのこれから』

Shinya Akazaki / 赤崎 信也

(株式会社積木製作 取締役 マネージャー)

建築に特化したCG制作で培った技術をVRに転換し、新しいVRビジネスを展開している積木製作。現在は企業向けVRコンテンツやイベント、プロモーション、アミューズメント向けのVRまで幅広く制作している。代表作にVRアドベンチャー「恐竜戯画」、「BLAST×BLAST」、「VRiel(ヴリエル)」、安全体感教育VR(明電舎)等。VRビジネスの現在、そして未来について話を聞く。

申込書

映文連  
TANPEN塾  
人材育成セミナー

会社名	ふりがな 氏名
住所	受講希望コース
電話番号	FAX
	E-mail
	<input type="checkbox"/> 全5回コース 名 <input type="checkbox"/> 1回券 第( )回 名